

アクセス



「関沢町」バス停
(交番側) 下車 徒歩約5分
横浜駅西口バス乗り場
10番乗り場
「浜5系統 交通裁判所循環」
「浜10系統」
14番乗り場
「201系統 循環内回り」
「1系統 中山駅前行」

「関沢町」バス停
(学校側) 下車 徒歩約3分
横浜駅西口11番乗り場
和田町バス停
和田町交差点バス停
「202系統 循環外回り」

「国大中央」バス停下車
国大東通用門徒歩約4分
【平日のみ】
横浜駅西口バス乗り場
10番乗り場
「浜10系統」
14番乗り場
「急行329系統」
「201系統 循環内回り」
※「横浜国立大学正門前」
バス停付近には横断歩道
がありません。

※詳しくは学校HPをご覧ください。

問い合わせ

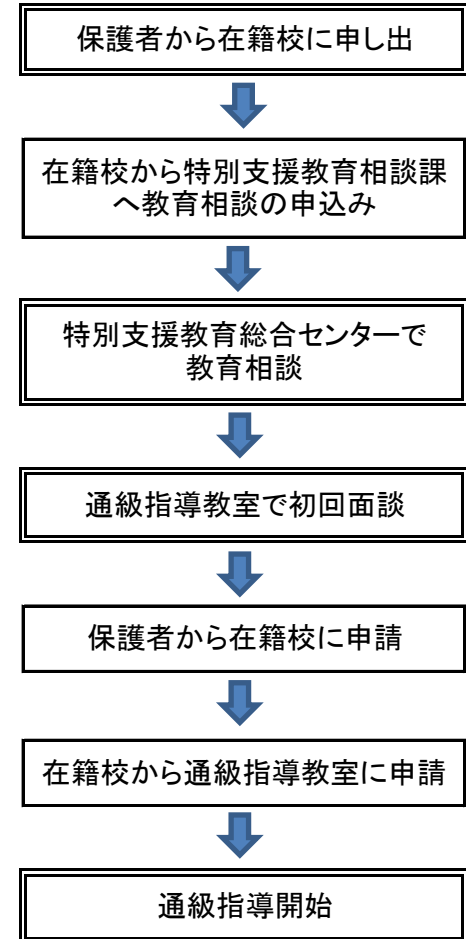
横浜市立ろう特別支援学校
【代表】045-335-0411
難聴・言語障害通級指導教室
【直通】045-339-1035

通級指導教室のご案内



横浜市立ろう特別支援学校
難聴・言語障害通級指導教室

申込から通級開始まで



難聴・言語障害通級指導教室は、 きこえとことばに障害のある子どもたちの学校生活を支援します。

保護者の方への支援

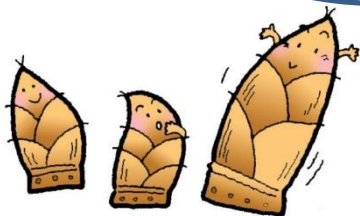
Q.何かわからないことがあった時に、すぐに相談できる場が欲しいのですが？

A.通級指導では、毎回保護者の方との面談の時間を設けています。お子さんの障害に関わる相談や、学校生活での心配事など、その都度ご相談ください。

Q.学校には同じ悩みを話し合えるお母さんがいないのですが？

A.年に数回、保護者懇談会を設けています。同じ障害のあるお子さんの保護者同士で、様々な話題について情報交換をしています。

横浜市立の小中学校に通う
小中学生が対象です。



子どもたちへの支援

Q.どんな子どもたちが通級していますか？

A. おもに、「難聴があって、ことばが聞き取りにくい。」「吃音があって、話しづらい。」「発音が気になる。」という子どもたちが通級しています。

Q.どのような形で学習するのですか？

A.子どもたち一人ひとりの実態に応じた、1対1の個別指導です。必要に応じてグループ学習も行います。また、小学生は年間4回、通級している子どもたち全員での集団活動も行っています。

Q.毎日、学校の授業を抜けて通級するのですか？

A.小学生は週1回、中学生は月1～2回の割合で通級しています。学校の授業を抜けても、遅刻や早退扱いにはなりません。指導時間や回数については、担当者にご相談ください。

Q.どんなことを学習するのですか？

A.ことばの発達がゆっくりな子どもたちへのことばの学習、難聴の子どもたちへの聴覚活用の学習や聴力測定、吃音のある子どもたちへの話し方の学習、発音が気になる子どもたちへの発音練習など、子どもたちが楽しく学校で過ごせるよう、学習や相談を行っています。

学校の先生方との連携

Q.子どもたちがどんなことに困っているのか知りたいのですが？

A.学校の先生方を対象に、「通級指導教室理解研修」を実施して（5月下旬～6月上旬）、障害についての基礎知識や、学校で配慮していただきたいことをご説明しています。その他、「教室だより」を発行したり、毎回の指導内容などを、「連絡ノート」でご連絡したりしています。

Q.通級の先生に子どもたちの学校での様子を見てもらう機会はありますか？

A.前期・後期に各一回、担当者が「在籍校訪問」を実施して授業参観と個別相談を行っています。学校の子どもたちが障害について学習する「理解授業」を実施する場合もあります。

Q.学校の職員全体の理解を深めたいのですが？

A.「通級支援センター機能」をご活用ください。通級の学校支援担当者が訪問して「理解研修」等を実施します。

Q.聴覚障害の方たちのことや手話のことなど、子どもたちの理解を深めたいのですが？

A.ろう特別支援学校の「センター的機能」をご活用ください。ろう特別支援学校の地域支援担当者が訪問して「出前授業」等を実施します。